

# 紀北支援学校

実施日時	令和3年10月26日（火）、12月21日（火）
参加者	生徒93名、教職員37名、計130名
実施内容	ペットボトルランタン作り、防災用品の使用体験、防災について 段ボールパーテーション作り、アルファ化米作り、災害時の行動について

## ねらい

- 1 体験学習を通して、防災への意識を持ったり高めたりする。
- 2 防災グッズの作り方を知る。
- 3 地震が起こった時の対応について自分の意見を話したり他者の意見を聞いたりする。

## 主なプログラム

（グループ別で実施）

A グループ：ペットボトルランタン作り

B グループ：アルファ化米作り・試食

湯沸かし体験 暗室体験

避難所体験 手回し充電ラジオ体験

C グループ：アルファ化米作り・試食 ダンボール

パーテーション作り 防災保温シ

ート体験 新聞スリッパ作り

防災時の行動について

B グループ：アルファ化米作りでは、一人1つずつ水から作り試食をした。湯沸かし体験では、ガスコンロとやかんを使って、実際に湯を沸かす体験を行った。暗室体験では、暗幕を使って教室を暗くして、懐中電灯で事前に隠した物を探す体験を行った。避難所体験では、段ボールパーテーションで区切られた場所で防災保温シートを使用する体験を行った。防災トイレがどのような物なのか、実際に中に入り、座る体験も行った。手回しラジオの体験では、手順表を見て、実際に音を鳴らす体験を行った。

C グループ：2～3人を1グループとし、生徒同士で、ダンボールパーテーションの組み立て方を考えたり新聞スリッパの手順を見て作ったりした。防災保温シート体験では、屋内外両方で体験した。アルファ化米作りでは、1人1つずつ水から作り試食をした。防災時の行動では、2択のクイズ形式で正しい行動を考える学習を行った。

## 概要

A グループ：台風や停電の動画を見て、災害の怖さを感じられるようにした。

防災グッズ「ペットボトルランタン」作りを行った。停電時の実際の暗い環境を想定して部屋を暗くした。暗い部屋の中でランタンの光をつける活動を行った。

## 参加者感想文

- ・ 暗い中で、ペットボトルランタンの光をつけると明るくてきれいでした。(A)
- ・ 防災保温シートを使用すると暖かくなった。初めて使用したので良い体験ができた。(B)
- ・ 湯沸かし体験や手巻きラジオ体験等、普段経験できないことを体験できて良かったです。(B)
- ・ ダンボールパーティションの組み立ては時間がかかりましたが上手くできました。(C)
- ・ 避難所生活では、段ボールパーティションがあるのとないのとでは全然違うと思いました。(C)

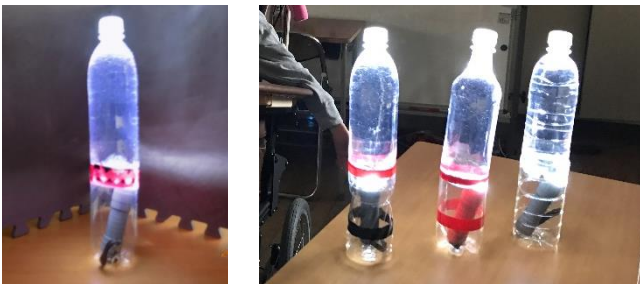
## 成果と課題

【成果】 災害が起きたときの対策法についての講義を受けるとともに、実際に段ボールパーティション、新聞スリッパ作り等に取り組んだ。具体的に制作活動に取り組むことで、より防災についての意識を高めることができた。

【課題】 今回の講義でたくさんのことを学んだが、実際に災害が起きたときに、落ち着いて行動に移せるかが課題になってくるので、学校で実施している避難訓練や総合的な探究の時間で取り組んでいる「防災」についての授業で繰り返し指導を行うことで実際に起こるかもしれない災害に備えたいと考えている。

## 授業内の写真

### 【Aグループ】



### 【Bグループ】



### 【Cグループ】

